

高浜町 議会だより

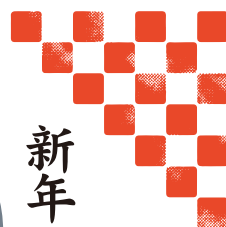


和田地区子ども会 かるた大会

contents

- | | | | |
|-----------------|----------|--------------------------|--------|
| ◇年頭挨拶 | P2 | ◇委員会報告 | P11～18 |
| ◇トピックス | P2～3, 20 | ◇議会傍聴にお越しく下さい／編集後記 | P20 |
| ◇採決一覧表・討論 | P3～4 | | |
| ◇一般質問 | P5～10 | | |

第133号



新年のごあいさつ



議長

栗野 明雄

明けましておめでとうござい
ます。

昨年は、国政においては、衆
議院選挙が行われ、安定政権が
続くことになりました。このこ
とは、安心に繋がりを、くらしに
も安定感が出てくるものと思い

新年のごあいさつ



副議長

小幡 憲仁

あけましておめでとうござい
ます。町民の皆様にはお健やか
に新年をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

昨年、高浜町議会では新庁舎
の真新しい議場で心機一転、多

ます。

しかしながら健全な野党の存
在が大切なことも実感した年
でもありました。

今年は、福井国体が行われ
ます。

高浜町では、トライアスロン
とセーリングが行われます。
立派に成功させたいもので
す。

人口減少が進む今、我々は
大きな岐路に立っていると
思っています。

町の課題は、原子力・保育
所・高齢者福祉・観光のあり
方・薬草をはじめとする青葉

くの議員が質問に立ち町政の
重要課題について白熱した議
論が展開できました。

人口減少問題や少子高齢化
に伴う地域の衰退、不透明さ
を増す国のエネルギー政策な
ど高浜町を取り巻く情勢は厳
しいものがありますが、地方
の発展なくして国の繁栄はあ
りません。

本年も町政発展のため議会
の責務を果たしてまいる所存

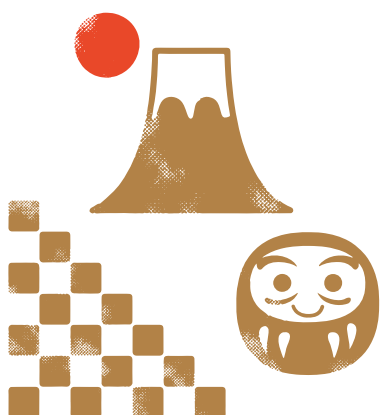
山の活用などですが、人の心
のあり方・考え方・行動が結
果を左右しますので、大切に
したいものです。

議会の判断が、将来を左右
することを自覚し、足を地に
着け、しっかりした判断が出
来るようにしていくことをお
誓いし挨拶と致します。



です。

どうぞよろしくお願いいた
します。



台風21号、漁業関連施設に波浪被害 日引漁港、防波堤滑動

10月23日に町内を襲った台風21号により、漁業関連施設
に多くの波浪被害が発生した。

本定例会では被害を修復するための予算が計上された。

上瀬 ウィンチ小屋修復など4か所で977万6千円
(町1/2、基金1/2)

上瀬(日引)漁港の防波堤が波浪により滑動(横すべり)した。

災害復旧測量設計調査委託料他749万7千円(一般財源)
(磯部武史)



ハーバル、指定管理者が変更になりました！



新指定管理に青葉山麓研究所

第3セクターいきいきタウン高浜が指定管理するハーバルビレッジであったが、任期途中にて指定管理者が変更。

新たに青葉山麓研究所が指定管理者になった。観光ジャンルも残しつつ、青葉山に生息する貴重な動植物を“地域のお宝”と位置付け、新たな産業につなげ、青葉山麓を守り、伝えていく方針だ。

2年前、賑わいながらスタートしたハーバルビレッジであったが、任期途中にて交代した指定管理者。議会としても、しっかり見ていく必要がある。

(児玉千明)



ハーバルビレッジ



青葉山に自生するオオキンレイカ

指定管理料金／1,612万円		
内 訳	人件費	784万円(3名)
	管理費	200万円
	リース料	230万円
ほか、運営費など		



12月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
承認第4号	専決処分の承認を求めること	予算決算	全員賛成で可決	P11
議案第65号	平成29年度高浜町一般会計補正予算（第4号）	予算決算	全員賛成で可決	P11
議案第66号	平成29年度高浜町国民健康保健特別会計補正予算(第3号)	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第67号	平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第68号	平成29年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	総務産業	全員賛成で可決	P4・12
議案第69号	高浜町立保育所整備基金条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P4・12
議案第70号	町道柿ヶ渡線整備基金条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第71号	高浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第72号	高浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第73号	高浜町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P4・14
議案第74号	高浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第75号	高浜町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第76号	高浜町重度障害者等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P14
議案第77号	高浜町青葉山健康長寿の里の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	P3・12

本会議での質疑・討論

討論 請願第4号

賛成討論 渡邊 孝議員

国連総会で、歴史上初めて核兵器を国際条約で違法化した。日本は唯一の戦争被爆国として核保有国を説得すべきである。

反対討論 磯部武史議員

要旨は理解できるが、北朝鮮情勢が緊迫している中、日本政府の判断を支持する。

討論 請願第5号

賛成討論 上尾徳郎議員

議会においては原子力発電の堅持を求める意見書を提出してきた。それを踏襲した請願趣旨である。

賛成討論 小幡憲仁議員

高浜町にとって原子力産業の発展が必要。発電所の新增設・リブレース方針をエネルギー基本計画に明記することを求めるべき。

反対討論 渡邊 孝議員

福島原発事故の収束はいっ終わるとも予測がつかない。原発は未完成技術であることを証明している。

質疑 議案第68号

上尾徳郎議員

町内すべての保育所を認定子ども園とするのか

保健福祉課長

子ども子育てプランの中で認定子ども園として整備するとして、今後、更新整備する保育所である。

質疑 議案第69号

小幡憲仁議員

町民が期待する高浜・和田保育所建替方針の本気度を示す保育所整備基金の設置を評価する。
今後の基金積立予定は。

総務課長

今後3カ年間で約10億円の基金積立を予定している。

質疑 議案第73号

井上順也議員

18歳以下の子ども医療費助成の条例改正とあるが、手続き、周知は、どのように行うのか

質疑 議案第77号

児玉千明議員

前指定管理者である、いきいきタウン高浜は任期満了でなく、辞退という説明だったが、辞退の明確な理由は

産業振興課長

スタート時点で、青葉山麓研究所よりいきいきタウンの方が準備ができていた。準備が整ったのでバトンタッチという形になった。

討論 発委第4号

賛成討論 井上順也議員

二度の石油ショックから、今日の経済、社会の発展は、原子力発電の安定した電気供給の賜物。

前ページの続き

議案第78号	高浜町休養施設の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第79号	若狭地区介護認定審査会共同設置規約を廃止する規約の制定に関する協議	厚生文教	全員賛成で可決	P14
同意第6号	固定資産評価審査委員会の委員の選任		全員賛成で同意	
発委第4号	今後の原子力発電所の安全・安定運転の継続に欠かせない原子力関連人材を確保するためエネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リブレース方針を明記することを求める意見書の提出	原子力対策	賛成多数で承認	P4・18
請願第4号	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願	総務産業	賛成少数で不採択	P4・12
請願第5号	エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リブレースを明記することを求める意見書の提出に関する請願	原子力対策	賛成多数で採択	P4・12・18

Q 有線テレビ民営化、手続きを無くせないか

A 意思確認や顧客管理などから、手続きをお願いしている

磯部 武史 議員



Q 有線テレビ事業者との契約を行うために申込書が郵送された。

文字も小さく非常にややこしい。

これまで通りのテレビを見る場合は無料であるので、申し込み手続きを無くせないか。

A 引込工事には費用が掛かり、また、顧客管理や故障対応などから、必要最低限の手続きをお願いしている。

◆高浜漁港と城山公園の再整備計画について

Q 総務産業常任委員会で、漁協の移転計画、城山公園再整備計画について事代自治会館に出向き意見交換を行った。



高浜漁港 再整備計画案

地元の現役漁師の多くは塩土への移転について反対であるという事であった。町長の見解を問う。

A 城山と漁港は表裏一体の関係があり、現段階では漁協、水産振興協議会の、最終の意思確認を待ち各計画の進め方を固めていく。

Q 台風21号の海岸被災状況と対応は

A 国や県の災害査定を受け、迅速な復旧工事の実施を求める

上尾 徳郎 議員



Q 高浜漁港の沖防波堤の被災状況と対応は。

A 延長110mの内65mが最大5m港側へ押し出され、被害額は約10億円と聞く。

県が被災のメカニズムを検証し復旧工法の検討を行い、国の災害査定準備状況である。

Q 海岸漂着物の処理と城山海岸の護岸対策は。

A 町内海岸線に膨大な漂着物があり、県の「災害関連緊急対策事業」により順次対応し、対象外の海岸については漂着物処理事業で対応する。

城山海岸の護岸は砂が堆積し、これからも波越えによる海岸道路への砂や漂着物の堆積の懸念があり、県に状況報告し早急の除却作業を要請中。



沖防波堤の被害状況

◆雨水調整池稼働状況

Q 第2調整池完成による被害緩和の見込は。

A 計画雨量時間当たり46・8ミリ内で、南区・中央区の冠水被害の軽減を計るが、あくまで被害を軽減するものである。今後も、調整池の機能発揮に適切な運用・維持管理に努める。

Q いじめ問題について

A 常に迅速な報告・連絡 相談をするよう指導

廣瀬 とし子 議員



◆高浜児童センター
Q センターの室内は雨漏りや壁が剥がれている。又

Q いじめが原因で尊い命が失われている。日頃の言動を的確に把握し、未然に防止する必要がある。
いじめに対してどのような指導、対策を学校教育の中で行っているか伺う。

A 子ども同士で話し合う機会を「道徳」や学級活動の時間を使い子ども達自らが、いじめについて考え、他人事や傍観者としてではなく、自分の問題として考えることができるようになるれば、いじめ問題は解決していくと思う。



町内小学校の様子

A 子どものように話しかける機会を「道徳」や学級活動の時間を使い子ども達自らが、いじめについて考え、他人事や傍観者としてではなく、自分の問題として考えることができるようになるれば、いじめ問題は解決していくと思う。

A 外壁も剥がれている。こんな状況で児童がのびのびと遊べるだろうか。高浜町は児童公園が少ないので、近隣市町の施設を利用している人もいる。
環境の良い所に施設を建て替えてはどうか伺う。

A 高浜児童センターは、築31年を経過し、老朽化した施設を適正に管理していくにあたり、毎年、不具合が生じた箇所の修繕を実施する、子どもたちが安全に過ごせるように維持管理に努める。
昨年度に策定した「公共施設等総合管理計画」児童センターについては、施設の廃止を検討。

Q 災害廃棄物処理計画について

A 町の一般廃棄物処理基本計画を見直し中である

西野 朋宏 議員



※写真はイメージになります
災害廃棄物

Q 「青の松原」を地域の核となる誰もが安心・安全に利用できる憩いの場所として再整備する意向はあるのか。

Q 災害が起これば、どんなゴミが出て、どう処理すればいいのか、災害ゴミの処理を想定し、がれき対策を事前に考えておくべきだと思うが、災害廃棄物処理計画はどのようになっているのか。
A 現在、町の一般廃棄物処理基本計画を見直し中であり、「福井県廃棄物処理計画」「高浜町地域防災計画」との整合を図りながら基本計画に盛り込む予定である。



青の松原の状況

Q 災害時における行方不明者の氏名等の公表について高浜町の判断基準はどのようなになっているのか。
A 現在、国からの明確なガイドラインが示されておらず、当町の場合は警察や消防等と協議し、その時々個々の状況において判断したいと考えている。

A 本年度は岩神区背後の草刈作業に取り掛かっており次年度からは、蘭部区エリアにおいても計画しているところで、引き続き松原本来の機能維持や環境整備の推進を図りたいと考えている。

Q 難波江川上流に多段の滝が発見された、是非調査を

A 滝の調査は、状況確認のうえ本格実施する

山本 富夫 議員



Q 青葉山麓周辺事業及び自然財産有効活用について（ハーバルビレッジの運営方向性）。

A 平成30年4月からは一般社団法人への組織強化が進む「青葉山麓研究所」を候補者として、指定に係る議案を提出。

Q 脇坂公園整備状況。

A 本年度、整備に向けた基本構想の策定に着手し、年度内には取りまとめを終える予定。



脇坂公園からの眺望

Q 難波江川上流で多段の滝を発見、新たな観光資源として滝の調査を求める。

A 自然観察員や関係団体の方々から情報収集し、内部調査を進め本格調査

は、状況が整った段階で移行したい。



発見された滝

Q 青葉山麓自生の古代スギ調査について。

A 調査は順調に推移しており、今年度末には調査報告書が提出予定。

Q 「部落差別解消推進法」と自治体条例制定について。

A 「高浜町人権擁護に関する条例」に追加した条例改正を図る。



Q 国民健康保険の都道府県化について

A 過度の町民負担にならぬよう県に主張する

渡邊 孝 議員



Q 国民健康保険の実施主体はこれまで市町村であった。来年（平成30年）4月から実質、都道府県と市町村に改変される。被保険者・町民への影響はどうなるのか。

A 国民健康保険は、他の医療保険と比較して年齢構成が高く、医療費水準も高い。所得水準は低いなどのリスクがある。これらの問題解決のための改定である。

改定後、県は、県全体の国保事業の経費と公費等の財源を把握し、各市町が納付すべき納付金などを算出する。市町は、被保険者に保険料を賦課、徴収し、県に納付金を上納することとなった。

3年毎に運営方針を見

直す予定だが、被保険者の負担が過度にならないよう県に強く意見していく。

◆今後の町財政運営について問う

Q 町財政の基幹財源は、町税（町民税、固定資産税など）と、普通交付税などである。その総額は高浜町の人口規模の自治体ではおよそ40億円であり、これに国・県支出金などを加え、約60〜70億円程度が普通会計規模である。ところが高浜町は、平成に入ってからこれが100億円前後に拡大している。原発関連財源の影響であるが、原発廃炉期を迎え、将来これが入ってなくなると財政に大変な困難をきたすことが想定されるが、どう考える。

A 人口減少や廃炉を見据え、身の丈に合った財政規模にしていこう。健全で持続可能な町財政運営を目指し、財政規律の確保に向けた取り組みを鋭意進めていく。



Q 下水道分離マス清掃の負担軽減ができないか

A ニーズを詳細に調査していく

井上 順也 議員



Q 高齢者支援として、家庭での下水道分離マス清掃の負担軽減としての支援や補助ができないか。

A どの程度のニーズがあるのか、優先順位も含めて、詳細に調査させて頂いてから対応する。清掃方法等の広報も充実させていく。



下水道分離マス

◆町営住宅受入停止時の入居希望者への対応は

Q 現在、町営住宅の建て替え計画および改修計画により、入居受入れ停止を行っているが、住居困窮者に対する計画的な入居希望対応ができないか。

A 一人親世帯の方が入居できないという実態を受け止めた。一般住宅の家賃補助の制度化について、公平性、財源も含めて検討していく。

Q 教員多忙化の実態を問う



小幡 憲仁 議員

A 中学校で超過勤務80時間超が半数を占める。多忙化の解消に取り組む

Q 教員多忙化の高浜町における実態を問う。

A 中学校で半数の教員が月80時間の超過勤務をしている。部活動の適正化、集金業務や行事の見直し、学校完全休養日の設定など教員の負担軽減に取り組む。

◆認定こども園の開園に向けて

Q 高浜・和田保育所を整備して認定こども園とする施策に期待している。広く町民の意見を聴くため建設委員会の設置など開園に向けた準備が必要。

A 町民をメンバーとする建設委員会を設置して計画を進めたい。幼稚園教諭資格の取得など必要な準備に万全を図る。



高浜中学校教員の早急な働き方改革が求められる

◆UPZ圏内の住宅耐震化の促進について

Q UPZ^{※1}圏内住宅の住宅耐震化が必要。

A PAZ^{※2}UPZとも住宅耐震改修の補助率かさ上げを求めている。

※1 原子力発電所から半径5km以上30km以内のエリア
※2 原子力発電所から半径5km以内のエリア

Q ふるさと納税に本格的に取り組んで3年目に入るが、寄付額の推移は

A H27約3,900万円、H28約2,100万円、
今年度10月末時点540万円

大塚 ひとみ 議員



ふるさと納税カタログ

Q ふるさと納税の新戦略について問う。

①寄付額の推移は。

②参入事業者の状況、反応は。

③ガバメントクラウドファンディングの進捗状況は。

④新体制での戦略は。

A ①対前年同月比82.8%の減額となり、テコ入れとして、11月から返礼品数を増やし、カタログ刷新、特設ページを開設。

②自社の商品やサービスを全国にアピールできる良い機会と前向きな意見。

③10月から12月の3ヶ月間で430万円を目標に開始したが目標額には遠く及ばない現状であり、

協力をしてほしい。

④全体の担当は総務課、返礼品・広報業務は総合政策課とし、2課連携を図り推進していく。



Q 「空き家活用」の充実、活性化を。

A 空き家バンク制度で42軒の登録で、17軒の利用あり。町内に330軒の空き家があり、バンク登録推進、充実を図る。

Q 近年における小学生の教科書の増量幅は

A 10年前に比べ約43%のページ増

児玉 千明 議員



Q 近年ではビジュアル化や教科書の大判化により全国平均38%の教科書の増量がある。

米国力イロブラクティク協会では小学生の荷物重量は体重の10-20%以下に抑えるよう規則や罰則を設けている場所もあるが、高浜町としてはそういった取り組みがあるか。



A パソコン使用の授業はあるが、そのような予定はまだない。

その他：

英語教育について

子供の遊び場について

質問

※1教材などを学校に置いて帰ることを許可している学校もある

Q 日本では取り組んでいるところは少ないが、健康被害や、成長過程において問題が出る場合もある。今後全国データを収集し、調査していく。また、ICTも視野に入れていくべきでは。

A ない。「置き勉」^{※1}なども取り組んでいない。



Q 汐入 1 号雨水施設の運用は適切か

A 適切と考えている

釣本 音次 議員

約 15 億円か
けた汐入 1
号雨水施設
が有効に使
われていな
い。
台風 21 号
の場合、必
要な時には

明らかに
明らかに
約 15 億円か
けた汐入 1
号雨水施設
が有効に使
われていな
い。
台風 21 号
の場合、必
要な時には

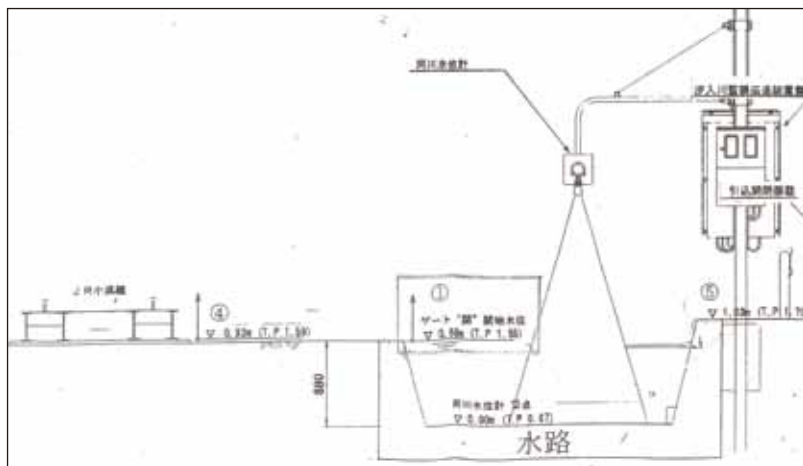
Q ならば、汐入 1 号貯水
槽には道路面を超える水を
貯めるべき

A その通りだ。

被害は、汐入川の水が道
路面からあふれる事で起
るのではないか。

Q 約 15 億円をかけた汐入
1 号雨水施設を有効に使っ
てもらいたい立場で質問す
る。

A 鉄道の橋桁より 5 cm
下に水位を設定し道路面
に設定すれば水没する為、
適切と考える。



資料館前 水位設定図



一般廃棄物処理施設の 先進地視察実施

若狭広域行政事務組合

代表議員 山本 富夫

◇11月22日(水)

■野洲クリーンセンター視察

若狭広域行政事務組合議会一行は滋賀県野洲市にある野洲クリーンセンターを視察した。

設置運営

方法は、設

計 D(デザイン

ン)、建設 B

(ビルド)、

運営 O(オペ

レーション)

の仕組みを



滋賀県野洲クリーンセンター視察

■近江八幡市

■環境クリーンセンター視察

視察 2 ヶ所目は、近江八幡市環境クリーンセンターを視察。

設置運営方式は DBO 方式で、熱源を電力に置き換えるサーマル発電が行われた施設。

さらに温水を市営プールに活用するなどエネルギーをうまく活用した施設であった。

D+B+O 方式で最初の三年間を指定管理した施設運営が図られていた。



熱原利用の温水プール

台風21号災害復旧費 2,082万4千円

予算決算

常任委員会レポート

委員長 上尾 徳郎

◇12月11日(月)

●承認第4号

■平成29年度高浜町

一般会計補正予算(第3号)

衆議院議員総選挙の事務事業費
1114万7千円について審議。

●議案第65号

■平成29年度高浜町

一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ7819万6千円
を追加し予算総額を102億2922
万3千円とする。

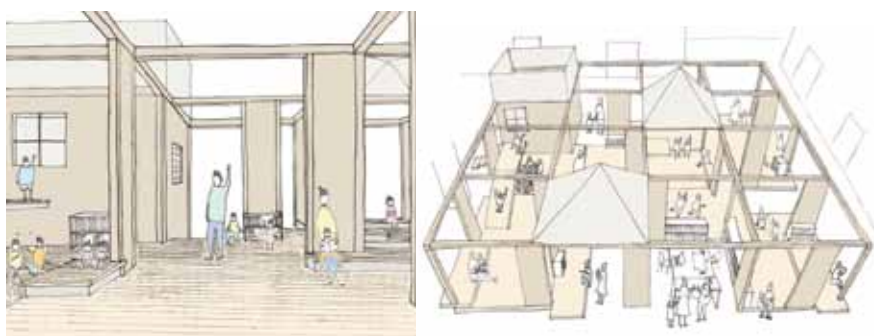
【衛生費】

●子育て世代包括支援センター

運営事業工事請負費895万8千円

備品購入費の設置工事への財源組み換え
があるが、プロポーザルでの公平性に問
題はないか

工事金額を示し、その範囲内での備
品も含めた改修工事の提案により決定
され、提案に沿っての工事請負費であ
り問題はない。



子育て世代包括支援センター改修イメージ

【土木費】

●町道除雪作業委託料969万5千円

補正についての考え方は

9月補正に除雪車3台をあげ、長期
予報を参考に昨年同様の補正額を計
上。

●柿ヶ渡線新設事業5996万6千円

用地地権の確認は

地権者は全員確認し、相続について
も調べてある。今回の補正をもって用
地交渉をしていく。

【教育費】

●トリアススロン競技会場等

舗装工事1800万円

全面舗装は出来ないのか

生活道路としては支障ないがバイク
コースとしては協会と再検証し、危険
な17ヶ所を舗装。

●実行委員会補助金の

減額△6500万円

予算見積りはどうだったのか

補助金の形で、運営経費、仮設物設
置・撤去、テント、他を積み上げて予
算を組んだが、トリアススロン大会の
テレビ中継を取りやめた分の減額がほ
んどである。

【商工費】

●海浜清掃業務委託料300万円

台風21号による町内全域の海岸漂着物の
清掃費なのか

台風等による処理量の増加と冬季波
浪による漂着を見込んだ町内全域の海
岸清掃費の追加予算。



東三松海岸漂着物集積場(3力所)

【災害復旧費】

●上瀬(日引)漁港

災害復旧749万7千円

防波堤継続事業と今回の災害復旧工事の
関わりは

既存部分の災害査定調査委託料を
計上して災害復旧を優先し、堤防延伸
工事は少しの間見合わせる。

青葉山麓研究所がハーバル ビレッジ指定管理者に決定

総務産業

常任委員会報告

委員長 山本 富夫

◇12月12日(火)

●請願第4号

非核三原則を堅持するとともに、アメリカの核の傘からの離脱を決断し、核兵器禁止条約への賛同と批准への請願。

●陳情第5号

過去の民主党政権のときのように、現金の支給だけではどうか。

生産費の支えは、現金だけではなく側面的支援が必要なのが議論されており推移を見守り審議継続の意見多数。

●陳情第6号

委員からは、内容は十分理解、日本の3大品種になっている米、麦、大豆、これは重大な問題で、今後、種子改良されて良くなっているのはわかるが、TPPの関係もあるのと、いろんな種が海外に出るということも非常に心配される。付帯決議も出ているので、様子を見ながら検討すべき。

●議案第68号

委員からは、菌部の4.8キロ分の管路清掃の詳細をとの質疑に対し、4.8キロは、菌部区だけの距離で、完了するとの回答。

その他には、21年度から順次やっており、西三松、中山、緑ヶ丘、子生、神野、神野浦、鎌倉、東三松、和田、岩神、紫水ヶ丘の順に実施している旨の回答あり。

●議案第69号

町立保育所を整備することを目的とした基金を造成するための条例の制定。中身は、3.8億円と3億円を2年積立9.8億円で高浜保育所の新設を検討。和田保育所との統合は図ったのかに対し、検討はしたが和田からの理解が得られなかったので統合はしない方向。

●議案第70号

補正で本年、柿ヶ渡線で5900万計上されているのかの質疑に対し、整備計画工期等予定に対して今年度用地買収を行う。工事に関しては、30年度から着工5カ年で整備する。用地の3分の1が町有地になっているので、30年度から問題なく着工の予定をしているとの回答。

●議案第71号

今、人事院が給与というのは、ある程度物価スライドも含めて、底上げ、ある程度、経済状況を見ての判断だと思いがどうかとの質疑に対し、人勧の内容について、50人以上の従ずる規模で、平均給与、人事院勧告が、全国調査する中で平均給与を出して、今の公務員の給与水準との格差を出しているものである。

若手の場合は大体千円以上、高齢者層で四百円程度月額アップ。それに準じて高浜町の実施との回答

●議案第77号

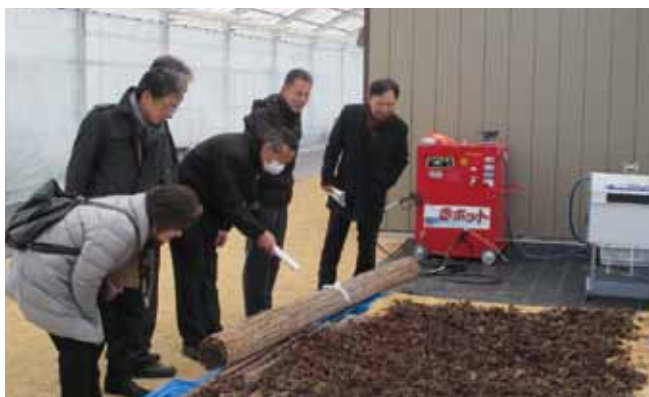
「株式会社いきいきタウン高浜」より、来年3月31日をもって、現在の指定管理業務を辞退したい旨申し出があり、新たな指定管理者が決定された当該指定管理候補者に青葉山麓研究所が決定した。

●議案第78号

休養施設城山荘に係る、現在の指定

管理者の指定期間が来年3月31日をもって満了するにあたり公募手続きによる指定管理の候補者を指定管理者として指定するもので引続き「せくみや」に決定。

視察先、完成した薬草種苗センター
(高浜町六路谷地係)



薬草乾燥の状況



総務産業 視察報告

■トヨタ自動車元町工場世界最高峰の生産に驚き

◇10月24日(火)～25日(水)

①トヨタ自動車元町工場

委員会は、当町出身であるトヨタ自動車元町工場工務部 工場企画室長 朽木泰博氏に対応していただき世界最高峰の物づくり現場を一部始終見学することができた。

元町工場はトヨタグループの発祥の地で『元町工場』と命名されたようである。

生産ラインはいま最も注目されている水素燃料で動く車ミライの生産工程を見学。

さらにトヨタ自動車の最高級クラスであるレクサスLC生産工程を見学した。

物づくりの原点、考え方、企業理念、人づくりなど、どれをとっても全く無駄な



高浜町出身朽木康博工場企画室長による対応

く取り組まれていることが世界一の企業なのかもしれない。

高浜町もトヨタに学ぶことはたくさんあると思われる。

ぜひ学ぶ機会を得るよう提案したい。



議員と語ろう会

総務産業常任委員会のメンバーを中心に実施しました

日時：11月15日(木)午後7時30分～9時

場所：事代自治会館

テーマ：1 城山周辺整備について

2 高浜漁協について

参加者：町民28名

山本委員長、西野副委員長、大塚委員、

井ノ元委員、磯部委員、横田委員、栗野委員

物を建てても、維持管理が困難であり、官民一体となり、熟考した上で進めてほしい。

回答 行政としっかり意見交換し、進めていきたい。

◆次のような意見をいただいた。

■テーマ1

●以前の町長は、城山公園を整備し、名物にしようとしていたがどうなったのか

●公園内には神社もあり、歩道整備もして欲しいと伝えた。公園整備の費用について

●城山公園について、SNSなどを利用した広告宣伝をもっと検討してはどうか。

また、公園内の芝生の手入れを継続的に実施していただきたい。

■テーマ2

●漁港の施設移転については反対意見が多かった。

●由良川のゴミが流れてくるのが問題である。

参加者から再度開催の要望が出され、好評いただきました。

その他、ここには書き切れない程の、活発な意見が多くありました。

参加の皆様大変ありがとうございました。

子どもに係る医療費窓口無料化(18歳以下)

厚生文教

常任委員会報告

委員長 廣瀬 とし子

●議案第67号

■平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出総額1億432万円、保険料の過年度還付金の不足が見込まれるための増額補正である。

●議案第72号

■高浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

幼稚園、保育園、認定子ども園等に入る場合、自治体は、子どもの区分(年齢や教育が保育の選択で異なる)、在籍期間、保育必要量(送迎の時間により違う)等を記した支給認定(受給資格)証を発行しなければならなかったが、本条例は受給資格証を発行しなくてもよくなった。

●議案第73号

■高浜町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

こどもの医療費を助成することにより子どもの適正な医療を確保し、健やかな成長を支援することが目標である。平成30年4月1日から受給者証を提示すれば医療機関の窓口において自己負担金を支払わずに医療の給付を受けることができる。

県内のみである。(保険給付対象外

の費用は要支払)

※18歳を超えた、身障・母子等医療対象者は従前どおりである。

●議案第74号

■高浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

●議案第75号

■高浜町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

●議案第76号

■高浜町重度障害者等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

議案第74号・76号は、平成30年4月より18歳以下の子どもに係る医療費は窓口において自己負担金を支払わずに医療の給付を受けることができる。

●議案第79号

■若狭地区介護認定審査会共同設置規約を廃止する規約の制定に関する協議

若狭地区介護認定審査会共同設置規約(平成11年7月1日施行)に基づき、小浜市、高浜町、おおい町は介護認定審査会の事務を共同で行ってきたが、平成30年4月1日から若狭広域行政事務組合において介護認定審査会を行うことに伴い、共同設置している若狭地区介護認定審査会を廃止とする。

18歳以下の子どもにかかる医療費助成の概要

平成30年4月～		
対象者	0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある「子ども」(身体障害者医療、母子家庭等医療対象の者も含む)	
助成方法	県内	●現物給付 受給者証を提示すれば医療機関の窓口において自己負担金を支払わずに医療費の給付を受けることができる。(保険給付対象外の費用は要支払) ※18歳を超えた、身障・母子等医療対象者は従前どおり
	県外	医療機関の窓口で一旦、自己負担金を支払い、領収書を添えて住民生活課へ申請。 後日、支払った医療費が保護者の口座に振り込まれる。



厚生文教 視察報告

■キッズデザイン賞や住民に寄り添った子ども園を視察

◇10月25日(水)～26日(木)

①有田市そとはま保育所 (和歌山県有田市)

提案型で建設を行った保育所の建設過程と併設されている。

子育て支援施設の利用状況について学ぶ。

入所定員は150名である。

施設は0歳～5歳の園児対象で、室内は冷暖房をやめて、パネリング方式を導入し暖かい湯を通して暖かい空気をつくり幅射熱で壁を温める方式を取り入れている。



有田市そとはま保育所

多目的に設置されている。建物は紀州材を活用している。防犯カメラが設置されている。

②有田川地域交流センター (和歌山県有田川町)(ALEC)

電子書籍の貸し出しなど、従来の図書館のイメージとは異なる、本を通じての地域交流の場である。

③宇治市第2登り子ども園 (京都府)

高層ビル内で保育所を設け、0歳～10歳まで園児を預け安心できる施設を目指している。

学童の施設も設置され事業を行っている。平成28年4月には認定子ども園(保幼連携型)へ移行された。



登り子ども園

議員と語ろう会

厚生文教常任委員会のメンバーを中心に
実施しました

日時：11月19日(日)午後1時30分～3時

場所：保健福祉センター2階 和室

テーマ：今後の保育所問題と子育て支援について

参加者：町民10名(子ども4人)

廣瀬委員長、井上副委員長、児玉委員、
釣本委員、上尾委員、小幡委員、渡辺委員

◆次のような意見をいただいた。

●高浜保育所は古い、何十年前と変わらない、耐震は大丈夫か早く建て替える行ってほしい。

●保育所が狭い、道路が狭く危険を伴う。送迎の車が危ない。

●立地場所は町中心部から離れてもいなので広い場所を。(バスは魅力的)

●遊び場がない(ほぼ町外県外へ出る)

●新保育園内に畑を作れないか。

●新保育園を検討する会議に呼ばれていない。(報告もない)

●病児病後児登録の件も登録している暇がない。オンラインでは不可能か土日開設できないか。

●認定保育園とは？保護者が理解、認知していない。
説明会を行うべきでは。

●高浜病院小児科が浸透していない、高浜の子どもはほとんど利用していない。

一番診てほしいのは19時以降(仕事が終わってから)

●出産後に関わる医療費の補助はあるのか。

●インフルエンザの予防接種、2回受けないといけないので、厳しい。(助成はないか)

参加者の皆様大変ありがとうございました。

平成29年度総合戦略の上期進捗状況と 福井県総合戦略について

人口減少問題対策調査

特別委員会報告

委員長 井上 順也

平成29年度総合戦略の上期進捗状況と福井県総合戦略の概要について、理事者側より説明を受け意見交換を行い、その後、「議員と語ろう会」で出た意見についても意見交換を行った。

◇12月14日(木)

■県総合戦略の概要について

2020年に社会減(転入、転出減)をゼロにし、2040年には出生率2.07にすることにより、自然減(子どもが生まれる数より死亡者が多い)を抑制し、68万人にとどめる目標を掲げて

いる。

主な社会減対策として福井・東京・大阪・名古屋に設置した「福井Uターンセンター」で仕事や住まいの紹介から引越しまでサポートし、U・Iターンの受入れ体制を強化している。



福井県の人口目標

■高浜町総合戦略29年度上期の数値的進捗状況

①高浜に住もう勧誘PJ
上期に11名の移住者があり27年度からの累計57名と、31年度の目標150名の約1/3となっている。

②海のある高浜暮らしPJ

上期に2世帯の住宅入居があり27年度からの累計16世帯と、31年度の目標100世帯に向けて対策強化が必要。

③高浜で教育推進PJ

将来高浜に住みたいと思う小学生の割合については、年度末にアンケートを実施する。(31年度の目標は90%で28年度実績は87%)

④高浜で子育て安心・健康増進PJ

合計特殊出生率については、5年毎に確認する。(31年度の目標は1.76で27年度実績は1.69)

⑤高浜新しい雇用づくりPJ

上期に大規模企業園芸のトマトとイチゴで13名の雇用が創出。27年度からの累計76名と、31年度の目標100名に近づいている。

■意見交換

サテライトオフィス誘致については、企業ニーズを念入りに考慮すべき。

企業ニーズをしっかりと調査していく。

誘致企業は、積極的にこの企業集まれという形も考慮すべき。

次年度1000社程度にアンケートをかけ調査する。高浜に興味を示され

ている企業に積極的に営業活動を行う。

高浜町の奨学金制度の検討状況は。

県の奨学金制度を踏まえ、新年度にはあげられるように準備、制度設計している。

地域おこし協力隊は、2人分の給料を出す気持ちで、高浜の地場産業に貢献し、確実に残って頂く人を募集すべき。

その点、戦略的に次年度以降取り組み。

高浜の町内の方々を足止めできる施策を重点に、高浜を育てるシステム、町民が豊かになる施策を基本とすべき。

高浜に住んでよかったという実感をしてもらえる事業が大切である。気を付けて対応する。

ブルーフラッグがあるから、ライフセーバの世界大会を開催するというような夢のあるようなことに挑戦すべき。

国内大会を継続し、関係機関への認知度をあげ、世界大会への要望を含めて進めていく。

地方においては、人材不足、人出不足の現状がある。奨学金や協力隊などの制度を民間が利用して人材確保ができることに努めて頂きたい。

人材確保の手立てに何が必要かを考えてもらい、行政としてどういう支援ができるかということを考えていく。

議員と語ろう会

人口減少問題対策調査特別委員会のメンバーを中心に実施しました

日時：11月8日(水)午後7時30分～9時

場所：高浜公民館2階 会議室

テーマ：移住、定住問題と促進について考える

参加者：町民19名

井上委員長、大塚副委員長、児玉委員、
釣本委員、上尾委員、廣瀬委員、小幡委員

高浜町へ移住された方や関心のある方にたくさんの方の参加を頂きました。ご意見、ご要望の一部をご紹介します。

◆次のような意見をいただいた。

●結婚祝い金制度を利用した。いい取り組みだと思う。

●子供が病気になった場合の手続きを簡易にしてほしい。子育ての充実が移住者を増やすのではないかな。

●7年前移住し、家を建てたが土地を

探す時、高くて苦労した。第2子保育料半額、医療費が高校生まで無料化拡大はありがたい。

JRがすぐ止まるのはなぜ。

●海はきれいで、青葉山や人もいい。高浜町に可能性を感じるがインパクトがない。

最初の印象を良くすれば、もっと高浜の良さを気付いてもらえるのではないかな。

●アパートなどは回覧板が無い為、当たり前の情報が入らない若年層が情報弱者になっている。

有線放送など上手な利用法があるのではないかな。

広報以外にも、他市町との違いや良くなったことなどわかり易く伝えてほしい。

●空き家の情報がない。もっと空き家プロジェクトの活性化を。

●高浜の空き家は1軒の家が大きく、老朽化が激しく、水回りなど直すのにコストがかかるので助成出来ないかな。空き家賃貸において、近所づきあいが出来るかなどの不安解消のためお見合い期間が欲しい。

●三松、脇坂など活用方法があるので。おおい町と比較した場合施設のまとまりがない。

●自分のやりたい仕事が見つけない。来たい人が住めるよう、どう取り込んでいくかが大事。

●青郷から宇治区に移住したが、50年前は道路が冠水した。土地の条件をしつかり伝えること、情報が大事。インターンで来られる方を大事にしないといけない。

●シドニー在住者から高浜へ移住を考えていると聞いているので情報が欲しい。

住んだ時のコストが見えるホームページや原発のこと(福島以降どうなったか)など、どういう情報がほしいかを考えていくべき。

ブルーフラッグやイベントなど発信物はあるので個性を色濃く発信すべき。

●食べ物は美味しいが、食べる店がない。

仕事は作り出せば作れる。その為どこまで補助をしてくれるのか。

●宇治区に移住したが、近所に公園が

なく、車に乗って池田山公園に行っている。思いつきボールを投げられるような広い共有スペースが欲しい。

●子供が戻ってくるのが大事で、出て行く前にどう種を蒔いておくか、クリエイティブな仕事を学ばせてあげることが出来るかだと思う。

●高校生に対する施策がない。「ふるさと奨学金」制度はどうか。

福井県は県内に就職する方を応援するU・Iターン奨学金返還支援事業を行っている。町としては、独自の奨学金は未定だが、必要性を感じている。現在構想を練っているところで、高浜町にあった制度設計をしていく。

貴重なご意見を頂きありがとうございます。



鳥獣害被害全集落点検実施の報告

鳥獣害対策

特別委員会報告

委員長 西野 朋宏

【第2回集落点検】

◆実施時期／7・8・9月

◆実施事項

第1回点検時に指摘した不備事項について、その改修がなされているかを業者のみで点検し実施。

【点検結果】

不備事項の改修が

確認できたのは約20%

【第3回集落点検】

◆実施時期／10・11・12月

◆実施集落

延べ46集落

(全60集落／75%の実施率)

高浜地区9集落、和田地区13集落、青郷地区13集落、内浦地区9集落

◆不備事項

- ・集落放置された果樹を多数発見
- ・野菜クズの投棄
- ・コンポスト外に捨てられた生ゴミの発見
- ・蓋のないコンポストの発見

【第1回集落点検】

◆実施時期／4・5・6月

◆実施集落

延べ28集落

(全60集落／60%の実施率)

高浜地区5集落、和田地区3集落、青郷地区13集落、内浦地区7集落

◆不備事項

- ・ネット柵は、ゲート部分もしっかりと下部の固定を
- ・電気柵(シカ・イノシシ用)、柵線の高さは獣に有効に
- ・電気柵、アース棒は広げて完全土中に



集落点検

新增設リプレイス方針を明記することを求める意見書採択

原子力対策

特別委員会報告

委員長 山本 富夫

今後の原子力発電所の安全・安定運転の継続に欠かせない原子力関連人材を確保するためエネルギー基本計画に原子力発電所の新增設リプレイス方針を明記することを求める意見書(案)についての説明。

委員からは、賛成反対のそれぞれの意見が出された。

10年後、30年後を見据え今般見直しが行われているエネルギー基本計画において、原子力発電が我が国にとって今後とも欠かすことのできない貴重な電源であり明確に示すべきとの賛成意見があった。

反対者の意見として東日本大震災から6年9か月が経過したが福島原子力発電所の事故の終息目途が立っていないし原発技術は、未完成でやめるべき請願趣旨、内容については反対の意見があった。

高浜原子力発電所の免振事務棟

緊急時避難対策所の工事状況等の確認。

3、4号機の中央制御室の運転状況を確認し、どの施設においても問題なく進捗されていることを確認し視察を終えた。



視察の状況



第3回組合開会臨時

嶺南広域行政組合

代表議員 上尾 徳郎

平成29年度 第3回嶺南行政組合臨時会

◇9月28日(木) 敦賀市立図書館

池尾正彦議長(小浜市)山口和治副議長(美浜町)を選出。

提案理由説明後、議案審議。

●報告第1号

《専決処分事項の報告の件》

(福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約の変更に
ついて)

●第5号議案

《監査委員の選任につき同意を求める件》

今川直樹氏(おおい町)の選任

【全員賛成で承認】

第180回若狭消防組合議会定例会

若狭消防組合議会

代表議員 児玉 千明

◇11月2日(木)午後15時

●平成28年度一般会計歳入歳出決算

歳入歳出ともに13億4517万円となり、主にな施策の成果では消防ポンプ車購入や、消防用車両購入、高規格救急自動車購入、消防防災等に関する教育、訓練など。

「消防団員の報酬等、待遇について」

【全員賛成で可決】

●平成28年度一般会計補正予算(第1号)

491万円追加、主に10月22日から23日にかけて超大型台風21号により破損したポンプ車消防指令車(上中)修繕等

【全員賛成で可決】

平成29年度第2回福井県後期高齢者医療広域連合議会

福井県後期高齢者医療広域連合

代表議員 栗野 明雄

◇11月7日(火)

議長には福井市議会議員長の奥島光晴氏。

副議長には南越前町議会議長の生駒一義氏を選任した。

●議案第6号

福井県後期高齢者医療広域連合副連合長の選任は、越前市長 奈良俊幸氏を選任した。

●議案第7号

福井県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任は、前田一博氏を選任した。

●議案第8号

平成28年度福井県後期高齢者医療広

域連合一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

一般会計は、歳入、4億7911万9747円。歳出、4億4274万6446円。差引額3637万3301円を次期へ繰り越した。

後期高齢者医療特別会計は、歳入1030億8671万7775円。歳出1016億3337万2564円。差引額18億9609万1657円を次期へ繰り越した。

●議案第9号

平成29年度福井県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算は3637万3千円が補正され、4億8688万9千円となった。

●議案第10号

平成29年度福井県後期高齢者医療特別会計補正予算は、22億3115万3千円が補正され、1053億4219万千円となった。

●第1号報告

債権放棄の報告。地方自治法の規定により、5年間の時効期間が満了となったため、48万2676円の債権が放棄された。

●第2号報告

若狭広域事務組合の加入により、福井県市町総合事務組合規約が変更された。

未来を担う若者の新たな門出

TOPICS

成人おめでとうございます



1月7日、成人式記念式典があり、色とりどりの振袖やスーツ姿の若者が新たな門出を喜び、大人としての自覚を新たにしました。高浜町では平成30年109名の新成人。



高浜町議会もお祝いに駆け付け、これからの未来を担う若者へ、期待とそして町議会としての責務を改めて感じた。

新成人の皆さま、そして保護者の皆さま、誠におめでとうございます！
(児玉千明)



議会傍聴にお越しく下さい！



町民の皆様の議会傍聴大歓迎です！事前予約は不要です。

受付は会議当日議会事務局で行っております。

次回定例会は3月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710

<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>

編集後記

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、旧年中は高浜町議会に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、高浜町議会では、昨年、新たな取組みとして、毎回テーマを設けて、各委員会を中心に「議員と語ろう会」を開催しました。

町議会では、高浜町が抱える喫緊の課題に町民の皆さんに意見を伺い、早急に対応していくことが何より大切であると考え、このような方策を試みました。

現在、高浜町が直面している各分野における課題は、どれも重要で「待ったなし」の現状であります。

このような中、町議会は、常に原点に立ち返り、足元を見据え、議会が「丸」となって各種行政課題に取組んでいく所存でございます。

本年もより一層のご支援ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

広報特別委員会

文責 西野 朋宏

委員長 釣本 音次

副委員長 児玉 千明

委員 磯部 武史

大塚ひとみ

井上 順也

西野 朋宏

